



栃木県立黒羽高等学校



所在地 〒324-0234 大田原市前田780
 電話 0287-54-0179
 F A X 0287-54-4179
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/kurobane/nc2/>
 創立 昭和37年4月
 課程 全日制課程
 設置学科 普通科
 生徒数 370名(男子195名 女子175名)
 (令和3年5月1日現在)

通学のための主な公共交通機関

関東バス JR西那須野駅～黒羽高校(校内乗り入れ)(約42分)
 大田原市営バス JR那須塩原駅～黒羽高校(校内乗り入れ)(約40分)
 JR黒磯駅～黒羽高校(校内乗り入れ)(約30分)

I 学校の概要

1 学校教育目標

- 進んで学び 思考力を培う
- 心身を鍛え 根気を養う
- 責任を重んじ 勤労を尊ぶ

2 目指す学校像

- 個に応じた指導を充実し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、主体的に学習する態度を育成する学校
- 生徒主体の学校行事や部活動を充実させ、自他を尊重する心や積極的に責任を果たそうとする態度・行動力など豊かな人間性を育成する学校
- 組織的な生徒指導を推進し、規範意識の醸成と規律ある生活習慣を育成する学校
- 地域との交流を推進し、奉仕や勤労を尊び、進んで地域社会に貢献しようとする態度を育成する学校

3 募集する生徒像

- 本校の教育目標をよく理解し、本校入学を強く志望する生徒
- 将来に展望をもち、明るく主体的に自己の向上を目指す生徒
- 諸活動に懸命に取り組み、自他の行いを正す、たくましい生徒
- 地域の自然や文化に親しみ、地域社会に貢献しようとする生徒

II 本校の特色

1 本校の教育理念

生徒一人一人を大切にし、豊かな社会生活につながる人間力を育てるという教育理念のもと、地域や生徒・保護者の方々にさらに高く評価いただけるよう以下の項目について特に力を入れ、魅力ある学校づくりを行っています。

- 人間力育成を目指す普通科高校 普通科高校として基礎基本を大切にした授業と、生徒の主体性を育成する部活動や学校行事により、豊かな社会生活につながる人間力を育てています。
- 生徒一人一人を大切にしている高校 生徒の進捗に合わせた習熟度別授業や少人数授業を実施しています。また、令和2年度入学生より単位制を導入しており、生徒の興味・関心や進路希望に応じて、幅広く科目を選択することができます。
- 特色ある学校行事 大看板を前に応援合戦を繰り広げる体育祭や、趣向を凝らした学校祭、生徒会が主催するスポーツ大会や花見句会など、他校にはない特色ある学校行事を実施しています。教職員も積極的に応援し、生徒の主体性や協調性を育てています。

2 施設・設備の特色

主な学校の施設としては、コンピュータ教室、第1・2体育館、格技場、相撲道場、合宿所（八溝寮）、野球・サッカー場、テニスコート（3面）、図書館（2F建て、冷房完備）があります。

普通教室棟には、160名の生徒が入ることのできる大教室や、習熟度別授業・選択科目の授業に使用できる講義室が各階にあり、授業やさまざまな行事で活用されています。

本格的なバイクのトレーニングコースが校内にあり、安全運転の指導を行っています。

3 制服の特徴

紺のブレザーとチェック柄のズボン・スカートは、落ち着いた印象を与える制服です。夏服の半袖シャツは丈が短く、風を通しやすく、爽やかな印象を与えるデザインです。また、指定のベスト・セーターもあります。



4 学習内容

本校では、全ての授業で基礎基本に重点を置き、ていねいで分かりやすい授業を行っています。また、習熟度別授業や少人数授業を実施し、生徒の理解度を高めています。

2年生からは選択科目が大幅に増え、進路希望に応じて科目を選択することができます。

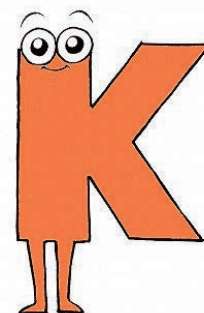
「黒羽こころみ学習」と称している総合的な探究の時間では、校外へ出たの現地学習や地域の方々と交流、進路研究のための職場見学会などを実施しています。進路に備えてのインターンシップ（職場体験学習）も2年生の希望者で実施しています。

資格取得にも力を入れており、漢字検定・数学検定・英語検定・保育検定（造形表現）・食物検定・ワープロ検定等が本校で受検できます。

Ⅲ 進路状況

1 令和2年度卒業生の進路状況

進路	進学					就職	その他	計
	国立 公立大学	私立 大学	国立 公立短大	私立 短大	専門 学校等			
人数	0	10	0	5	46	68	4	133



黒羽高校マスコットキャラクター
けーちゃん

2 主な進学合格先（過去3カ年）

【大学】

朝日大学、足利大学、桐生大学、近畿大学、国際医療福祉大学、駒澤大学、埼玉学園大学、作新学院大学、松蔭大学、駿河台大学、聖学院大学、洗足学園音楽大学、帝京大学、東京国際大学、

東京福祉大学、日本大学、文星芸術大学

【各種専修学校等】

IFC大学校、宇都宮ビジネス電子専門学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校、大原スポーツ公務員専門学校、大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、国際看護介護保育専門学校、国際自動車・ビューティ専門学校大田原校、国際情報ビジネス専門学校、国際テクニカル調理製菓専門学校、国際テクニカル理容美容専門学校、国際ファッション・ビューティ専門学校、栃木県農業大学校、栃木県立衛生福祉大学校、栃木県立県央産業技術専門校、那須看護専門学校、日産栃木自動車大学校、日本工学院八王子専門学校

【短大】

宇都宮短期大学、郡山女子短期大学、國學院栃木短期大学、埼玉女子短期大学、作新学院女子短期大学、佐野日大短期大学、実践女子短期大学

3 主な就職先（過去3カ年）

アローテックス、泉鋼管、エス・オー・シー、OSPアドバンス、大阪シーリング印刷、大田原市森林組合、オカモト、カキヌマ、カゴメ那須工場、クラフツ、庫や（CHEESE GARDEN）、櫻護謨、社会福祉法人京福会、全業工業、壮関、大日本塗料那須工場、田淵電子工業、テラ、東武商事、栃木ニコン、那須ダイワ、那須野農業協同組合、ハシモ、パナソニックスイッチングテクノロジーズ、富士電機機器制御、ブリヂストン、ホテルエピナール那須、ミツヤ送風機製作所那須事業所、山一化学工業那須工場、吉野工業所小川第二工場、りんどう湖ロイヤルホテル、ローマイヤ栃木工場、自衛隊

Ⅳ 特別活動について

1 部活動

1年生は原則として全員部活動に加入することになっており、どの部も熱心に活動しています。運動部においては特に相撲部の活躍がめざましく、一昨年も県高校総体、インターハイ県予選の団体や個人で優勝を果たしました。関東大会、全国大会においても常連校として上位入賞の活躍をしています。他の運動部でもそれぞれの目標に向かってグラウンドや体育館において活発に活動しています。文化部では、ボランティア部が福祉施設や特別支援学校との交流をはじめ、様々な活動に意欲的に取り組んでいます。また、吹奏楽部や黒羽太鼓部などが地域に貢献する演奏活動を行うなどの実績を残しており、一昨年度は黒羽太鼓部が佐賀県で行われた全国高校総合文化祭に出場しました。

野球部



相撲部



ボランティア部



黒羽太鼓部



2 特徴的な学校行事

本校では、体育祭と学校祭（八溝祭）を隔年で実施しています。特に、体育祭は他に例を見ない大規模なもので、4.8m×6.4mの大看板を作成し、その前で勇壮な応援合戦が繰り広げられます。保護者のみならず地域の方々も見物に訪れ、地元でも評判の秋の名物行事となっています。その他の学校行事として、花見句会、スポーツ大会、修学旅行、芸術鑑賞会、予餞会等があります。修学旅行は、例年3泊4日で沖縄に行っています。

花見句会（4月）



スポーツ大会（5月）



体育祭（10月）



修学旅行（11月～12月）



V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 30%程度

2 出願するための資格要件

基礎的な学力を備え、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けており、次の（１）又は（２）のいずれかに該当する者

- （１）明確な将来への展望や進路目標をもち、本校入学後も意欲的に学習に取り組むことができる者
- （２）部活動、生徒会活動、ボランティア活動などにおいて、真剣な取組の姿勢又は優れた実績をもち、本校入学後も学習と両立させながらそれらの活動に積極的に取り組み、活動団体の中核的存在として主体的に活動できる者

3 特色選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間40分 字数400～500字

4 その他、特色選抜における特記事項

・令和3年度重点強化拠点校（競技：相撲（男子））

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、
 - ①「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）
 - ②「特別活動の記録」、「行動の記録」は段階評価を行う。
 - ③「文化活動・スポーツ活動・社会活動・特技等の記録」については、総合的な評価をする際に活用する。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2の①の合計点の順位が特色選抜の募集定員の70%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の70%以内にある者）で、かつ調査書の点数化されない部分（特に【資料の取扱い】の2の②を重視する）や面接の結果から、学習や部活動等に対する意欲やその取組状況が明確であると認められ、面接及び作文の評価が良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。